

令和2年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1. 集落協定の概要

都道県名：愛媛県

市町村名：宇和島市

島名：日振島

協定締結集落名：日振島

交付金額：6,717千円

(1) 基本交付金：6,717千円

(2) 新規就業者特別対策交付金：0円

協定参加世帯数：60世帯、111人（うち漁業世帯48世帯、94人）

2. 協定締結の経緯

集落協定を締結している日振島地区は、ブリ・マダイの養殖、採貝・採藻、大中型まき網、はえなわ漁業等が盛んに行われている。しかし魚価の低迷、不安定が長く続き島の活気が失われつつある。そこで地域漁業の活性化を図るとともに、集落の漁業生産活動が活発な状態となることを目指して、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

① 漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・ヒラメ10,000尾、トコブシ18,000個、サザエ2,000個、アオナマコ10,000個を地先漁場へ放流した。
- ・磯焼けが拡大しているため、磯焼けの原因となるウニ（ガンガゼ）の駆除を8回（延べ151名）実施した。
- ・枠組みとなる鉄骨や金網にワカメ・クロメの種糸を取り付け、磯焼け漁場に設置し、藻場の回復を図ることとした。
- ・アオリイカ等の資源量が減少しているため、資源増大を目指しウバメガシ等の木で産卵礁を作製し、漁場に設置する作業を10回（延べ99名）実施した。

② 漁場の再生に関する実践的な取組状況

- ・島内で多く採取される天草を、水で白色になるまでさらした後、袋詰めして商品化した。販路を拡大のために電話等で営業活動を行うなど、売り上げの増加を図った。

③ 新規就業者に係る取組状況 なし。

4. 取組の成果

- ・放流したトコブシ・サザエ稚貝及びアオナマコが定着しており、今後の水揚げが期待できる。
- ・磯焼け漁場のウニ（ガンガゼ）の駆除や、ワカメ・クロメ種糸の取り付けを実施することにより、周辺で海藻が見られるようになった。
- ・海底に設置した産卵礁周辺で稚イカや稚魚が多く確認された。
- ・天草の販売店舗数は昨年度と比較して1件増加し、増収を図ることができた。



種苗放流(アオナマコ)



漁場の管理・改善(ガンガゼ駆除)



漁場の管理・改善(ワカメ・クロメ種糸設置)



高付加価値化(天草)